

問1 天智天皇の死後、大友皇子と大海人皇子の間で跡継ぎをめぐる起こった大規模な内乱を何という？

1. 壬申の乱 2. 元寇 3. 承久の乱 4. 白村江の戦い

問2 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？

1. 大宝律令 2. 十七条の憲法 3. 大化の改新の詔 4. 御成敗式目

問3 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？

1. 氏姓制度 2. 中央集権 3. 封建制度 4. 地方分権

問4 663年、日本軍が唐・新羅の連合軍に敗れ、百済の復興に失敗した戦いを何という？

1. 元寇 2. 承久の乱 3. 白村江の戦い 4. 壬申の乱

問5 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築物群として飛鳥文化を象徴する寺院を何という？

1. 東大寺 2. 中尊寺 3. 四天王寺 4. 法隆寺

問6 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？

1. 地頭 2. 御家人 3. 渡来人 4. 守護

問7 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？

1. 班田収授法 2. 口分田 3. 公地公民 4. 租庸調

問8 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？

1. 班田収授法 2. 大化の改新 3. 律令制度 4. 封建制度

問9 672年に天智天皇の死後、後継をめぐる起きた内乱を何という？

1. 応仁の乱 2. 承久の乱 3. 元弘の乱 4. 壬申の乱

問10 663年に日本軍が朝鮮半島で唐・新羅の連合軍と戦い、大敗した戦いを何という？

1. 川中島の戦い 2. 壇ノ浦の戦い 3. 壬申の乱 4. 白村江の戦い

問11 推古天皇が才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？

1. 大宝律令 2. 冠位十二階 3. 班田収授法 4. 十七条の憲法

問12 聖徳太子や蘇我氏が中心となって栄えた、日本で最初の本格的な仏教に基づく文化を何という？

1. 国風文化 2. 天平文化 3. 鎌倉文化 4. 仏教文化

問13 604年に十七条憲法を制定し、役人としての心構えや道徳を説いた人物は誰？

1. 中大兄皇子 2. 天武天皇 3. 聖徳太子 4. 藤原鎌足

問14 聖徳太子が、家柄に関係なく才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？

1. 冠位十二階 2. 御成敗式目 3. 十七条の憲法 4. 大宝律令

問15 奈良県の法隆寺などが該当する、飛鳥時代に日本で発展した現存する最古のものは何？

1. 鉄筋コンクリート建築物 2. 木造建築物 3. レンガ造建築物 4. 石造建築物

問16 聖徳太子が、中国の隋から進んだ政治制度や文化を学ばせるために派遣した人物は誰？

1. 阿倍仲麻呂 2. 吉備真備 3. 小野妹子 4. 菅原道真

答え合わせ・解説

問1	答え 1 壬申の乱	672年に始まったこの争いは「壬申の乱」と呼ばれ、地方の豪族や兵を味方につけた大海人皇子が勝利しました。勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、これまでの豪族中心の政治から、天皇に権力が集中する政治へと大きく転換しました。
問2	答え 2 十七条の憲法	604年に聖徳太子によって制定された「十七条の憲法」は、役人が守るべき道徳や心構えを説いたものです。特に「和をもって貴しとなす」という言葉が有名で、天皇への服従や、仏教を重んじることを説いています。
問3	答え 2 中央集権	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「中央集権」です。地方の豪族から土地や民を公のものとする「公地公民」を掲げ、中央政府が全国を一括して管理するシステムを構築しました。
問4	答え 3 白村江の戦い	663年、現在の韓国付近にある白村江（はくすきのえ）という場所で、日本軍は唐と新羅の連合軍と激突しました。しかし、最新の戦術を持つ連合軍に日本は完敗しました。
問5	答え 4 法隆寺	法隆寺は、聖徳太子によって建立された日本最古級の寺院です。現存する金堂や五重塔などの建物は、世界で最も古い木造建築物群としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。当時の建築技術や仏教美術の粋を伝えており、飛鳥時代の高度な国際交流の様子を現代に伝えています。
問6	答え 3 渡来人	渡来人たちは、土木建築、製鉄、機織り、漢字や儒教などの学問といった、当時としては極めて高度な技術や知識を日本に伝えました。特に白村江の戦いの後の防衛施設建設や、寺院の建立には彼らの技術が不可欠でした。
問7	答え 3 公地公民	「公地公民」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。これにより、豪族の力を抑えて天皇による一元的な支配体制の基盤を作ろうとしました。
問8	答え 3 律令制度	律令制度とは、刑罰を定めた「律」と、行政や税の決まりである「令」からなる法体系のことです。飛鳥時代の聖徳太子の時代から準備が始まり、大陸の制度を参考にしながら、天皇を頂点とした官僚的な政治システムを構築しました。これにより全国の土地や人々を直接管理することが可能となりました。
問9	答え 4 壬申の乱	672年に勃発したこの内乱は「壬申の乱」と呼ばれます。地方の豪族を味方につけた大海人皇子側が勝利し、大友皇子は敗北して自害しました。これは、当時の有力な皇族同士による最大規模の内乱となりました。
問10	答え 4 白村江の戦い	日本は百済を助けるために軍を派遣しましたが、白村江（はくすきのえ）という場所で唐・新羅軍に完敗しました。この敗戦により、日本は朝鮮半島での影響力を失い、次に唐が日本へ攻めてくることを恐れるようになりました。
問11	答え 2 冠位十二階	603年に制定されました。役人に位を表す冠を与え、その色は徳・仁・礼・信・義・智の儒教的な道徳に基づく階層を示しました。これにより、有力豪族だけでなく、能力のある人物を政治に参加させる道が開かれました。
問12	答え 4 仏教文化	仏教文化は、聖徳太子や蘇我氏ら有力豪族によって深く信仰され、寺院の建立が活発になりました。中国の南北朝時代や朝鮮半島の文化の影響を強く受けており、大陸風の優美な建築や彫刻が特徴です。法隆寺などの寺院が代表的です。
問13	答え 3 聖徳太子	聖徳太子は、推古天皇の摂政として政治を主導しました。官位十二階を定めて能力に応じた登用を促したほか、604年には十七条憲法を制定して役人の守るべき心得を示しました。これにより天皇への服従や、仏教・儒教の尊重を求めています。
問14	答え 1 冠位十二階	冠位十二階は、役人に能力や功績に応じて12段階の位を与え、それぞれ色分けされた冠を身につけさせる制度です。これにより、家柄にとらわれない公正な人事を行い、天皇を中心とした国家運営を支える官僚組織を目指しました。
問15	答え 2 木造建築物	法隆寺の金堂や五重塔などの西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築物です。当時の優れた技術を示しており、エンタシス（柱の中央が膨らむ技法）などの特徴が見られます。
問16	答え 3 小野妹子	小野妹子は、聖徳太子の命令を受けて遣隋使として隋の都へ派遣されました。当時の隋の皇帝である煬帝に、天皇の親書（「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す」で始まるもの）を手渡し、対等な関係を要求しました。彼はこの命がけの外交を通じ、大陸の優れた文化や法律制度を日本へ持ち帰りました。